





平成 26 年度認定			
  	氏名	伊熊 弘行 (いくま ひろゆき)	昭和 15 年生
	住所	兵庫県篠山市	
	分野	丹波篠山山の芋	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代初め導入され、明治初期には販売目的で栽培開始。大正から昭和初期に栽培面積が拡大し、平成 12 年には 108 ha の栽培があったが高齢化や栽培の難しさ、品質の不安定等から、現在、50ha、栽培農家約 600 人と急激に減少。 水稲、山の芋、黒大豆を中心に 1.5 ha 栽培し、うち山の芋は約 30a。経験年数約 40 年。丹波ささやま農協山の芋本部委員会の副会長。 どのような天候の年でも繊細な栽培管理と長年の経験、高度な栽培技術で安定した収量と品質を確保。平成 23 年～25 年までの過去 3 年の平均実績では、10a 当たり収量 985.8 kg (JA 丹波ささやま集荷分 700 kg)、特秀比率 59.9% (41.9%)。 品質・収量の低下、面積の減少に対応するため、支柱栽培、密植栽培、アグリシート栽培、農薬効果確認試験等各種実証試験に協力。JA・市・農業改良普及センターの主催する山の芋スクール・楽農スクール(後継者養成)のほ場実習の講師やほ場視察の受け入れ、優良系統種芋の系統維持などに取り組む。 	
	相談・指導に 応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> 山の芋について、現地(兵庫県内)においての収量・品質向上のための土づくり、ほ場準備・栽培管理等についての相談や技術指導。 現地ほ場での実践指導や視察の受け入れ。 	
国・都道府県・ 中央団体等の 受賞歴			
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 9 月～平成 29 年 8 月 丹波ささやま山の芋部会 副会長 平成 29 年 9 月～令和 元年 8 月 " 会長 令和 元年 9 月～平成 29 年 8 月 丹波ささやま山の芋部会 副会長 平成 31 年 4 月～ 篠山市損害評価員 平成 31 年 4 月～令和 元年 3 月 篠山市建物農機具共済推進委員 平成 31 年 4 月～令和 元年 3 月 篠山市農政協力員 共済連絡員 		

	<p>最近の活動状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山ノ芋スクール（農協）、楽農スクール（市町村）等で山の芋栽培のポイントを教える。 ・ 平成 30 年は高温のなかでの生育状況を調査するためのほ場視察や見学を受け入れる。 ・ 作付農家等による問い合わせに対するアドバイス ・ 令和元年 8 月 第 2 回丹波篠山「山の芋」魅力発見セミナー 講師 ・ 令和 2 年度はコロナ禍の中ですべての活動が中止となり、残念ながら活動が出来ない。生産者との交流ができることを願っている。
	<p>HP</p>	